

**第 1 回事業再評価部会における委員からの指摘事項への対応について
(西成区北西部地区)**

< 部会からの指摘事項 >

- ・ これまで 10 年間取り組んできた事業の成果や評価、課題などを明らかにし、その上で局として事業の必要性であるとか、今後、具体的に何に取り組んでいくのかを明確に示す必要がある

< 対応 >

- ・ 「これまでの取り組みの成果と評価」、「必要性」、「今後の取り組み」について別紙の通り回答させていただきます。

2. 必要性について

近い将来、東南海・南海地震等の大規模地震の発生が危惧されることから、密集住宅市街地の改善は喫緊の課題である。こうしたことから、「特に優先的な取り組みが必要な密集住宅市街地(優先地区:約1300ha)」については、外部委員会による「密集住宅市街地整備の戦略的推進」に向けて検討を行い、その提言(平成20年2月)を踏まえ、地区全域で耐震化や不燃化、狭あい道路の整備に関して新たに目標設定を行い、目標を明確にして取り組みを進めることとした。当地区についても、この優先地区に含まれていることから、目標達成に向けて取り組みを進めていく必要がある。

- 目標値(優先地区全域)
 - ・耐震化率 約54%(平成17年度)→短期目標70%(平成24年度)→長期目標90%(平成34年度)
 - ・不燃領域率 約35%(平成17年度)→短期目標40%(平成24年度)→長期目標60%(平成34年度)
 - ・建替時の狭あい道路整備率 80%(年平均)

3. 今後の取り組み

本事業は地域住民の協力を得ながら促進していくものであることから、引き続き積極的な普及啓発活動を実施しながら事業を推進していく。

具体的には、従来の制度説明会に加えて、区役所等との連携を強化しながら、新たに区役所等での個別相談会、地域住民へのチラシの回覧やポスターの掲示など、きめ細やかな普及啓発を積極的に進めていく。特に、狭あい道路拡幅整備については当地区での整備率が低いことから、昨年より取り組んでいる確認申請時における建築主への直接の働きかけに加え、さらに今後、地域ぐるみで取り組んでもらえるような働きかけなどを実施しながら、整備率を向上させていく。これらにより、次回見直し年度である平成25年度までに、短期目標値が達成できているよう、今後、重点的に取り組んでいく。

- 継続実施する事業
 - 民間老朽住宅建替支援事業
 - ・建替建設費補助
 - ・老朽木造住宅緊急除却補助(平成22年度までの期間限定)
 - ・耐震建替補助
 - 狭あい道路拡幅促進整備事業

次回、見直し年度
(平成25年度)
までの事業費
約7億円